

～次代へつなく豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2013 JA佐渡の経営内容



GIAHS（世界農業遺産）に認定「佐渡の里山の水田風景」

プロフィール

設立	平成5年8月1日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出資金	26億円
総資産	1,248億円
組合員数	14,972人 (正組合員9,136人・准組合員5,836人)
職員数	470人
店舗数	本店、支店 9店、出張所 3店

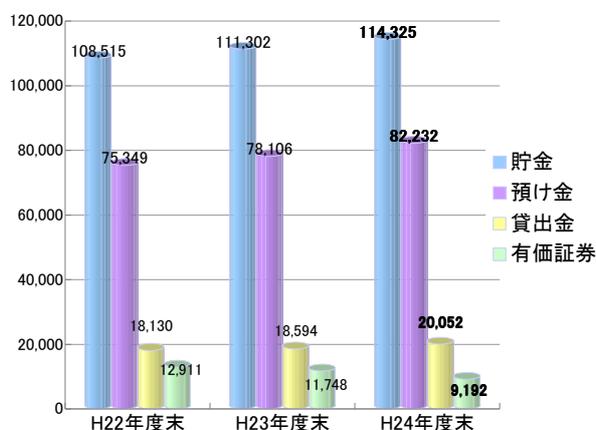
平成24年度JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の推移

(単位:百万円)

	H22年度末	H23年度	H24年度末
貯金	108,515	111,302	114,325
預け金	75,349	78,106	82,232
貸出金	18,130	18,594	20,052
有価証券	12,911	11,748	9,192

- 貯金残高は、年金受給者へのキャンペーンをはじめ、JAバンク新潟個人貯金2兆円運動の取り組み成果により前年比102.7%となりました。
- 預け金残高は、貯金を中心とした着実な資金調達を反映して前年同月比41億円の増加となりました。
- 貸出金残高は、新たに設置した融資センターによる営業を中心に、担い手支援資金の推進に取り組み伸長を図りました。
- 有価証券残高は、市場動向、金利等を踏まえた売却処分により、前年に比べ約25億円減少しました。

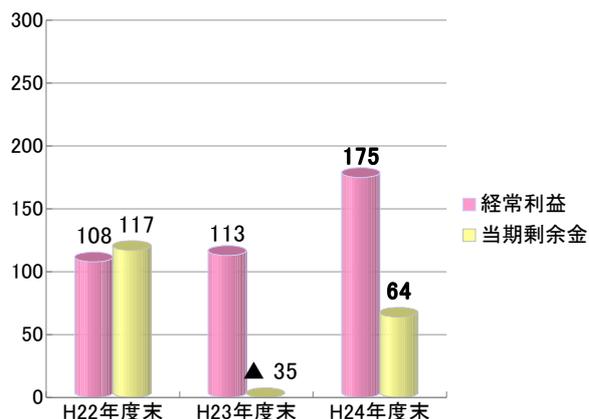


収益等の推移

(単位:百万円)

	H22年度末	H23年度末	H24年度末
経常収益	9,164	9,332	9,544
経常費用	9,055	9,219	9,368
経常利益	108	113	175
当期剰余金	117	△35	64
未処分剰余金	176	72	144

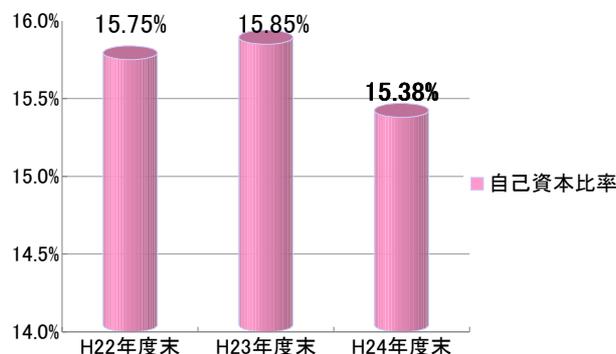
- 景気低迷、低金利等の影響から信用事業をはじめ各事業とも増収が厳しい中、各事業とも着実な実績の積み上げと管理費圧縮などの総合的な経営に努め、利益の確保に努めた結果、経常利益で1.75億円当期剰余金64百万円を計上することができ、出資配当ならびに積立金の積み増しによる内部留保を行いました。



自己資本比率の推移

(単位:百万円、%)

	H22年度末	H23年度末	H24年度末
自己資本額(A)	5,872	5,887	5,902
リスクアセット(B)	37,262	37,134	38,360
自己資本比率 (A)÷(B)×100	15.75	15.85	15.38



- 当JAの自己資本比率は15.38%であり、国内基準(4%)及び国際統一基準(8%)を上回る財務基盤を維持しています。自己資本増強のため、組合員加入促進の取り組みや増資運動に取り組んでおります。

自己資本比率の算出方法について

- 出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウエイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

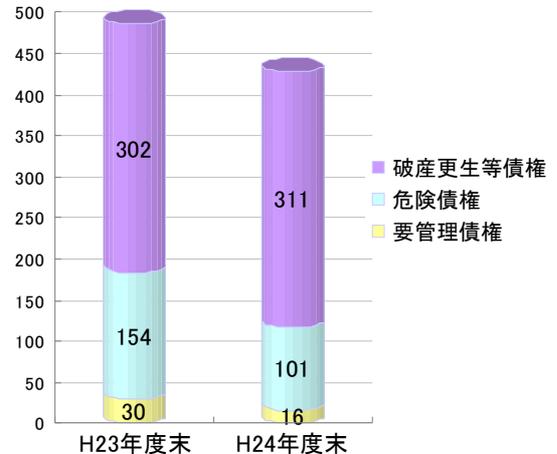
※リスク・アセットとは…万の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウエイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

不良債権の状況

金融再生法開示債権の推移

(単位:百万円 %)

	H23年度末	H24年度末
破産更生等債権①	302	311
危険債権②	154	101
要管理債権③	30	16
小計(①+②+③=A)	487	428
正常債権④	18,474	19,931
債権額合計(A+④=B)	18,962	20,360
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	2.64	2.10



開示債権と保全の状況 (平成24年度末)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円 %)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権		リスク管理債権	
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先	45	172	202	100.0	破産更生等債権	311	破綻先債権	36
実質破綻先	330						延滞債権	378
破綻懸念先	143	100	12	78.1	危険債権	101	3か月以上延滞債権	-
要注意先	要管理先	54	0	50.0	要管理債権	16	貸出条件緩和債権	16
	其他要注意先	335					合計	428
正常先	22,082				正常債権	19,931		
合計	23,043				合計	20,360		

リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金です。
- 「3か月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3か月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、債権の一部放棄等を行っている貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	平成23年度末			平成24年度末		
	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	4,897	4,974	77	2,899	2,944	42
その他	6,597	6,851	253	6,052	6,294	242
合 計	11,494	11,826	331	8,951	9,235	284

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・暮らしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「農業メインバンク」として社会的責任を担っております。

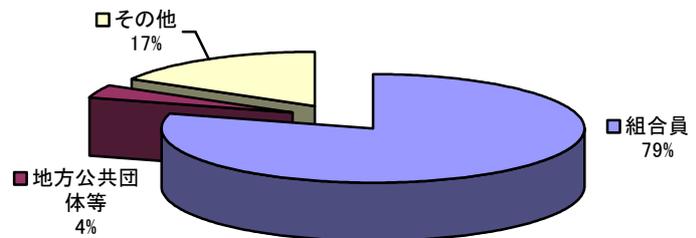
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「生活メインバンク」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	90,817
地 方 公 共 団 体 等	4,318
そ の 他	19,189
合 計	114,325

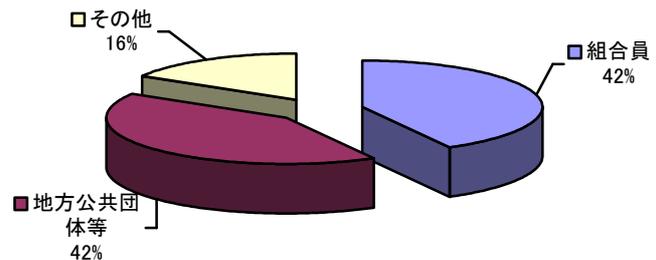


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	8,388
地 方 公 共 団 体 等	8,363
そ の 他	3,299
合 計	20,052



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてTAC（営農経済渉外活動）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。

こうした活動を円滑に実施するため「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟またはJA独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

主な農業関係の貸出金残高（資金種類別）

〔貸出金〕		(単位：百万円)
種 類	貸出金額	
プロパー資金	1,320	
農業制度資金	296	
農業近代化資金	101	
その他制度資金等	194	
合 計	1,616	

1. プロパー資金とは、当組合原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

社会的貢献活動への取り組み

当JAは、地域金融機関としてどなたからも身近で、親しまれ、選ばれる金融機関であるために経営ビジョンである「地域の未来を育むJA」をめざして、広く地域社会に貢献すべく、次のような活動を取り組んでいます。

- ◆助け合い組織「ほほえみ会」の活動を中心に、青年部や女性部組織による福祉施設等でのボランティア活動を毎年実施しています。
- ◆島内の子供たちが安心して生活できるために「こども110番」の取り組みを実施しています。
- ◆毎年3月と8月の年2回の「環境美化ボランティア」を実施し、全島的な美化活動に取り組んでいます。
- ◆青果市場などと共同開催している「ふれあいアッセまつり」や、各支店を中心に実施する夏祭り・収穫祭など地域住民とのふれあいを大切にしています。



(環境美化ボランティア)

- ◆中央営農農機センターに続き、畑野農業倉庫へ太陽光発電設備を導入し二酸化炭素削減と電力コストの削減に取り組まれました。また、夏場の省電力PRのための各施設での緑のカーテンの設置などに取り組まれました。



(畑野倉庫の太陽光パネル)

- ◆電気自動車などの普及推進を図るため金井・両津地区に電気自動車の急速充電器を設置し、環境PRを行っています。



(EV用急速充電器)

◆平成23年3月11日の震災により被害の大きかった東北地方に対して、JAグループでは物的、人的支援の輪を全国に広がるグループの相互扶助の精神と「絆」の力によって広げています。当JAでも「JAグループ新潟支援隊」に継続的に役職員が参加しています。また、お正月用のおもち、おけさ柿の贈呈など物的支援や各種イベントでの募金活動にも取り組みました。



(イベントでの募金活動)



(役職員による復興支援ボランティア)

これからも地域と共にあるJAを目指して

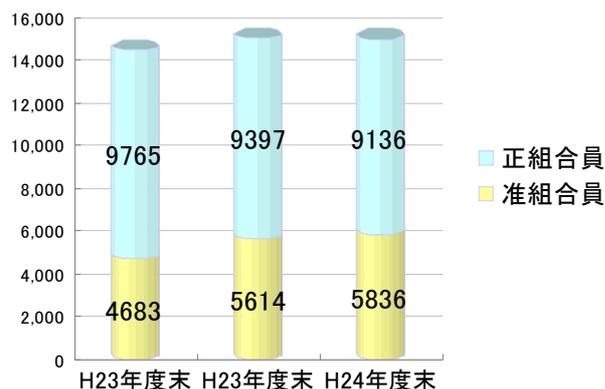
当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

- ◇Aコープ店 : 食料品を中心とした「暮らしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院内に1店舗を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域の暮らしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。
- ◇農産物直売所 : JA直営の直売所として昨年オープンし、地産地消運動を通じて農業振興に貢献<菜菜きて屋まの>していきます。現在、新たな直売所のオープン（平成26年7月予定）を目指して準備室を立ち上げ生産者との話し合い等に取り組んでいます。
- ◇セレモニーホール : 増加するホール葬需要に応えるために、2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。
- ◇セルフスタンド : 本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。平成25年3月からは、組合員割引制度をスタートし、新加入組合員も増加しています。
- ◇総合ポイント制度 : 各種事業のご利用に応じて会員皆様へのポイントによる還元サービスを行っております。現在会員数は約25,000名のご加入をいただいております。

組合員数の推移

(単位：人)

	H22 年度末	H23 年度末	H24 年度末
正 組 合 員	9,765	9,397	9,136
准 組 合 員	4,683	5,614	5,836
組 合 員 計	14,448	15,011	14,972



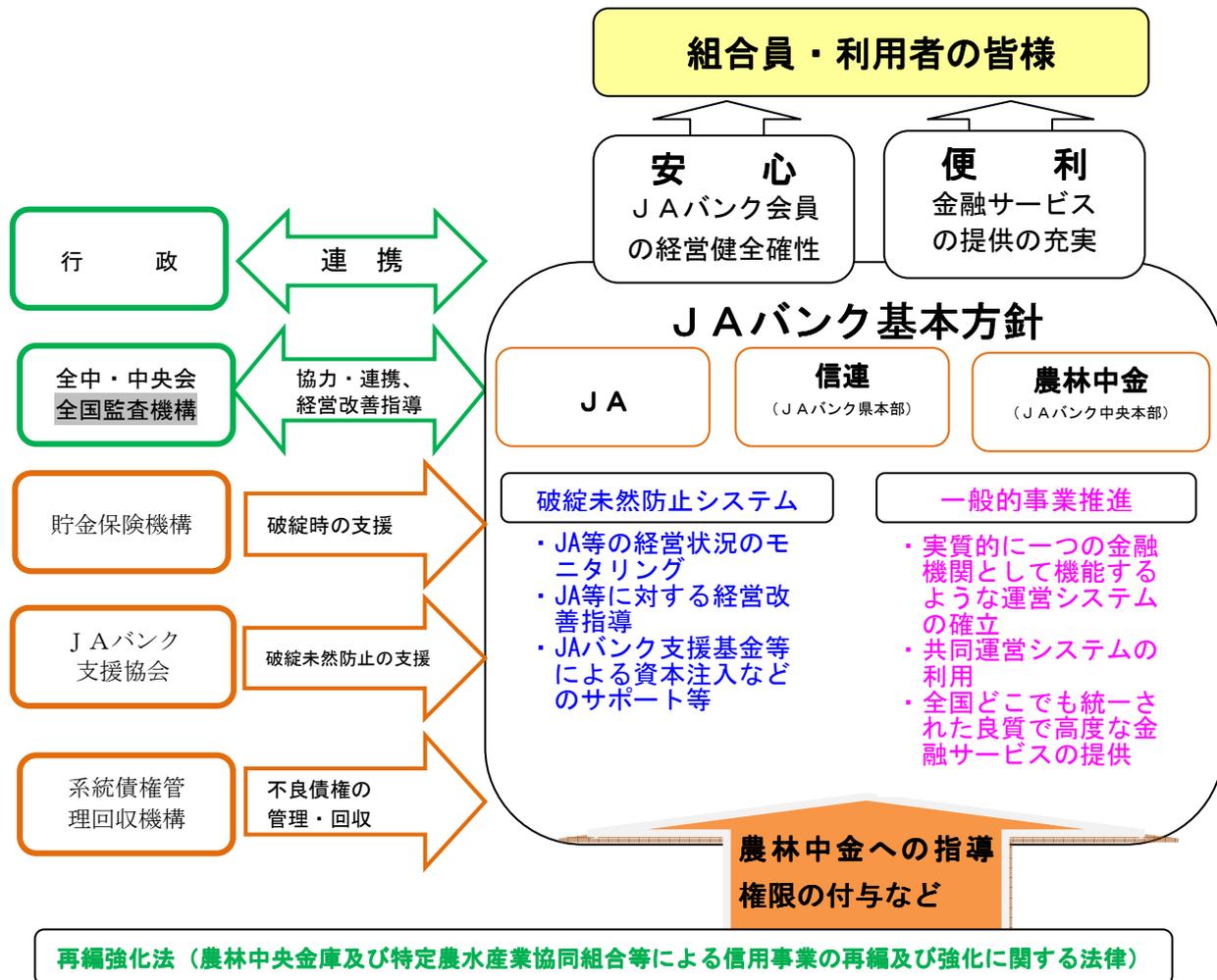
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者みなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



JAバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

+

破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック(モニタリング)、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。



編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>

